

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 9 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20401008

研究課題名 (和文) インドシナ地域での社会的弱者層を取りまく緩慢なるハザードの実態と地域復元力の解

研究課題名 (英文) Elucidation of chronic hazards surrounding the vulnerable people and resilience of community in Indochina region

研究代表者

小林 正美 (KOBAYASHI MASAMI)

京都大学・地球環境学堂・教授

研究者番号：50109021

研究分野：建築学

科研費の分科・細目：地域研究

キーワード：インドシナ地域、緩慢なるハザード、地域復元力、社会的弱者層、地域支援

1. 研究計画の概要

インドシナ地域(ベトナム中部とそれに隣接するラオス、カンボジア)の社会的弱者層(少数民族、水上生活民、貧困世帯など)を脅かす潜在的かつ緩慢に進行するハザード(「緩慢なるハザード」とそれに対する地域復元力(レジリアンス)の実態を明らかにし、地域社会の暮らしと安全に資する実践的対処のあり方を探ることを目的とする。

2. 研究の進捗状況

インドシナ地域に設定した対象地において、社会生態的特徴の把握、緩慢なるハザードの具体例の抽出と類型化および問題構造の解明(例えば、慢性的な自然災害、生態環境の劣化、土壌や水質の汚染、疾病、食のリスクなど)、人間活動が生態環境に及ぼすインパクトの評価、在来生業システムの変遷と地域復元力の解明、地域社会における防災メカニズムの解明、少数民族社会の特性把握と従来の援助アプローチの類型化、住まうことが地域復元力に果たす役割の解明、都市域での社会的弱者層の形成要因とハザードへの脆弱性の評価を行なった。

学術的な成果は、雑誌論文や学会発表に示すとおりであるが、特筆すべき点として、研究期間中に、日本システム農学会の一般講演会で3件の優秀発表賞(北村賞)を獲得したことが挙げられる。

インドシナ地域での活動展開は、「ベトナム中部・山岳少数民族の伝統建築における建設モジュールシステムの体系(挑戦的萌芽、2009年度、代表：小林広英)」や「ベトナム中部カトゥ族とバナ族の伝統建築にみる建設モジュールシステムの比較調査研究(挑戦的萌芽、2010年度、代表：小林広英)」、「社

会的弱者層支援と生態環境保全に向けた地域産業形成に関する実践的研究(挑戦的萌芽、2011年度～2013年度、代表：田中樹)」などの研究へと派生し、また、研究メンバーの所属機関による文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム「環境コミュニケーション・リテラシーの向上(2009年度～2011年度)」の獲得に貢献した。

一連の学術成果を社会実装した事例として、本研究チームのメンバーが中心となり提案した JICA 草の根パートナー型技術協力事業「ベトナム中部・自然災害常襲地のコミュニティと災害弱者層への総合的支援(平成 22 年 10 月～平成 25 年 9 月)」が採択され、生業多様化などを内容とする地域支援活動が実践されている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由) 計画当初に設定した小課題に対応する形で、雑誌論文や学会発表、図書などを通じて国内外への研究成果の発信を行ってきた。また、「JICA 草の根パートナー型技術協力事業」の獲得と実践を通じて学術成果を社会還元している。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度にあたる 2011 年度は、学術研究から社会実装にわたる広範囲の取り組みを以下の通り行う。

- (1) 研究計画に挙げた小課題についての国際共同研究を進める。
- (2) JICA 草の根事業などと連動して、研究成果の社会還元を行う。
- (3) インドシナ地域の連携機関(ベトナム：フエ農林大学、ダナン工科大学；ラオス：

チャンパサック大学、カンボジア：王立農業大学、王立プノンペン大学）と国際学術組織「持続的コミュニティ開発のためのアジア・プラットフォーム(Asia Platform for Sustainable Community Development)」を結成し、共同研究案件の立ち上げや学術成果の発信を行う持続的な体制を整備する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 30 件)

- ① 小林広英、飯塚明子 2010 : ベトナム中部山岳少数民族・カトゥ族の伝統建築再現にみる在来技術－フエ省ホンハ社の伝統的集会施設を事例として－、日本建築学会計画系論文集、75 (653)、1679-1686 (査読有)
- ② 浅野悟史、水野啓、小林慎太郎 2010 : ラオス南部における森林政策による焼畑農業への影響、システム農学、27(1)、21-29 (査読有)
- ③ Miki Yoshizumi 2010 : Key elements to promote sustainable citizen participation in environmental management-Comparative case studies between Japan and Vietnam-, Journal of International City Planning、17、367-376 (査読有)
- ④ 岡本侑樹、田中樹、水野啓、Nguyen Phi Nam 2009 : ベトナム中部 Sam-An Truyen ラグーンにおける季節的な底質環境変化と漁業資源管理、システム農学、25(1)、71-78 (査読有)
- ⑤ Huy Nguyen、Rajib Shaw、SVRK Prabhakar 2009 : Adaptive Drought Risk Reduction in Cambodia: Reality, Perceptions and Strategies、Environmental Hazards、8(4)、245-262 (査読有)

[学会発表] (計 14 件)

- ① 吉積巳貴、グエン・ゴック・トゥン、小林広英、グエン・クアン・フイ、小林正美 2010 : Sustainability of community linkage in historic old quarters under urbanization: Case study on the neighborhood community in Gia Hoi area of Hue city, Central Vietnam、The International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA)、2010年11月10日、北九州国際会議場(北九州市)
- ② TRAN Thanh Duc、TANAKA Ueru、MIZUNO Kei、KOBAYASHI Hirohide、OKAMOTO Yuki 2010 : Livelihoods and vulnerabilities of households in Tam Giang lagoon area, Central Vietnam、システム農学会2010年秋季大会、2010年11月7日、関西

学院大学(西宮市)

- ③ 吉積巳貴 2010 : Education for Sustainable Development Initiatives in Japan、International Greening Education Event 2010、2010年10月27日、カールスルイエ市(ドイツ)
- ④ Ueru TANAKA、Minoru MATSUNOSHITA 2009 : Behaviors of villagers and vendors relating to indigenous marketing functions in a mountainous village of Central Vietnam、システム農学会2009年度秋季大会、2009年11月13日、イーアスホール(つくば市)
- ⑤ Kei Mizuno 2008 : Landscape Analysis with Multispectral Aerial Images in the Bo Watershed, Central Vietnam、International Symposium on Geoinformatics for Spatial Infrastructure Development in Earth and Allied Sciences、2008年12月5日、ハノイ市(ベトナム)

[図書] (計 5 件)

- ① T. T. Ho、V. A. Le and U. Tanaka (eds) 2010 : Community-based rural development approaches [in Vietnamese with English abstract]、Ngon Nghiep Press, Hanoi、180
- ② Yoshizumi M.、Nguyen T. L.、Dao T. P.、and Shaw R. 2009 : Rural Livelihood and Disaster Risk Reduction: A Case Study from Central Vietnam、In "Disaster Management: Global Challenges and Local Solutions" Chapter 31、Universities Press India Limited、664
- ③ Huy Nguyen、Rajib Shaw 2009 : Water Resource Management, Climate Change and Indigenous Knowledge. 60-72、In Indigenous Knowledge and Disaster Risk Reduction: From Practice to Policy (Ed. Shaw, R. et al)、NOVA Publisher、490
- ④ Huy Nguyen、Rajib Shaw 2009 : Climate change impacts and coastal zone management in Vietnam. 323-338、In Communities and Coastal Zone Management (Ed. Shaw, R., and Krishnamurthy, R.)、Research publishing, Singapore、354
- ⑤ 水野啓 2008 : 環境と国際協力－地球環境学堂ベトナムプロジェクトからのメッセージ. 226-234、「地球環境学へのアプローチ(京都大学地球環境学研究会著)、丸善、252